

<弱視とは>

弱視とは、多少視力はあっても実際にもものを見わけるときに、そのすぐそばまで目を近付けないといけない障がいをさします。メガネやコンタクトレンズをつけた場合であっても、両目で見た時の視力が 0.3 以下ぐらいだと弱視のなかにはいるといえます。

- ・ 軽度の弱視 0.1 以上 0.3 未満
- ・ 強度の弱視 0.04 以上 0.1 未満

<視覚障がいとなる子どものおもな目の病気>

- 網膜色素変性症 : 目が暗さに順応できなかつたり、視野が狭くなつたり視力の低下。
- 未熟児網膜症 : 網膜剥離の危険性があり、視野を失うこともある。
- 視神経委縮 : 視野がかけたり、網膜がはがれ落ちたりする。
- 小眼球 : 視力が低下したり、視野や色覚に障がいが発生する。
- 眼球しんとう : 視力の低下。成長に従ってなおる場合もある。
- 緑内障 : 視野が狭くなつたり、視神経などに障がいを起こしほおっておくと視力を失うこともある。
- 白内障 : 視力が低下したりする。ほおっておくと一生見えないままとなる。